

可令早曾我余一太郎貞光領知當郡法師協郷内野邊左衛門五郎跡并沼楯村事  
右爲勳功賞所被宛行也者早守先例可致沙汰之狀所仰如件

建武二年三月二十五日

〔白河證古文書〕讓與所領等事

一陸奥國依上保道忠知行分

一同國石河莊内 高貫郷 矢澤 坂地郷

右於彼所領等者所讓與參河前司親朝也不可有他妨但親朝一期之後者七郎顯朝一圓仁可知行之仍爲後日讓狀如件

建武貳年六月二十一日

道忠花押 城宗 廣

〔東京圖書館本 結城古文書寫〕下 陸奥國白河莊内泉崎郷地頭代職事

和知次郎重秀

右依軍忠所宛行也任先例可被領知之狀如件

建武二年十月十五日

〔白河證古文書〕陸奥國依上保金原保白河莊内金澤郷等爲勳功賞可令知行者天氣如此悉之以

狀

建武二年十月五日

大膳大夫花押 御門 經季

結城參河前司朝 親 館

〔白河證古文書〕みちのくにたかのこほりきたかたいのうちにしたかわらひひんがしたかわらひ二かまよはためかげがまそくいだてのさへもんくらんどため爲 顯 長 倉 合あきながくらが戦んせんのおんまやうに給はり候略 中